

令和元年度 広報さいじょうアンケート結果（紙面）

1 調査概要

調査目的：広報紙について読者の意見を収集し、今後の編集方針の参考とするため

実施期間：令和元年 9 月 26 日～11 月 15 日

（広報紙面などに掲載）

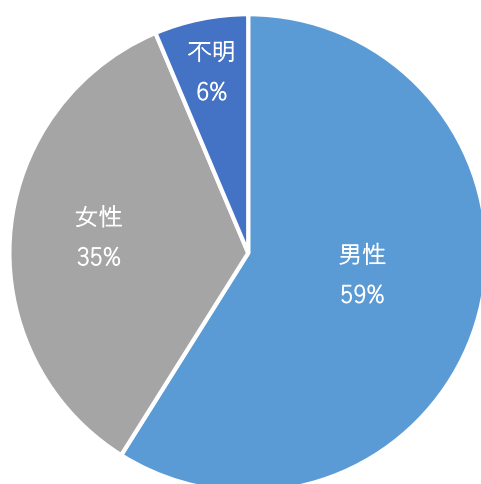
回答者数：1,008 人

発行部数：43,300 部

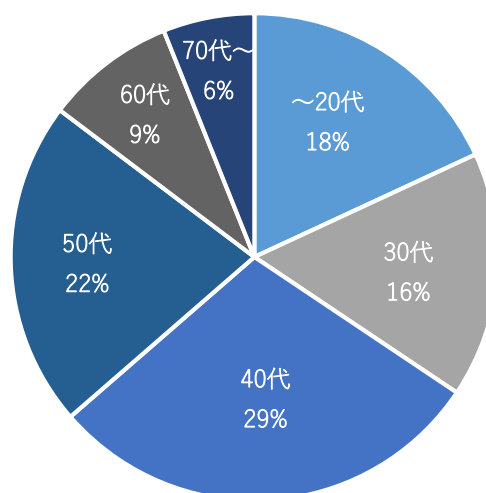
回 答 率：約 2.3%

2 回答者属性

性別



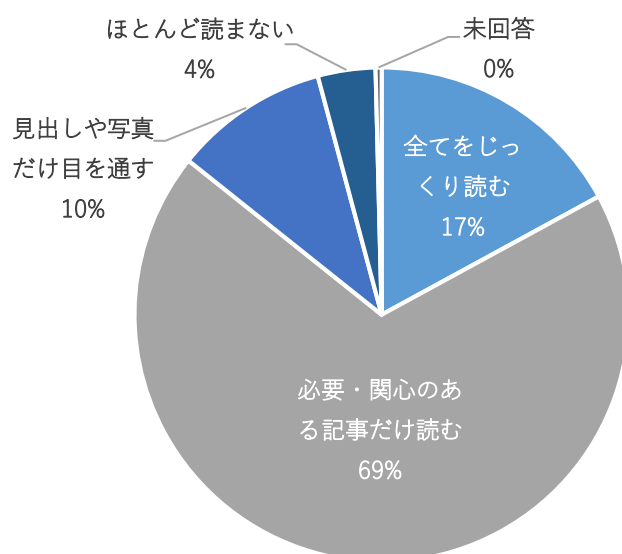
年齢



※四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合があります。

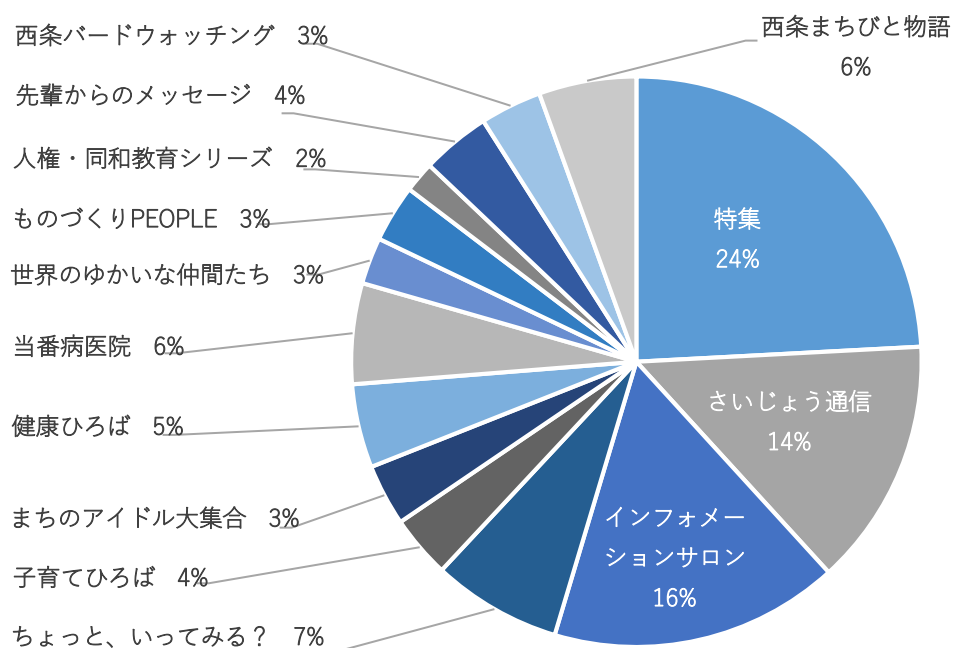
3 アンケート結果（全体）

どのように読んでいるか



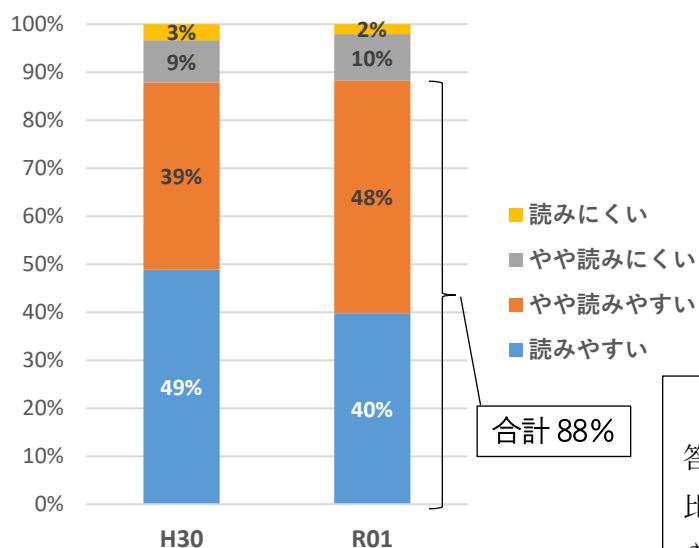
「必要・関心のある記事だけ読む」と答えた方が約 7 割を占める。特定の記事しか読まない方に対し、いかに他の記事も関心を持ってもらえるかが課題といえる。

よく読む記事はどれか（三つまで選択）



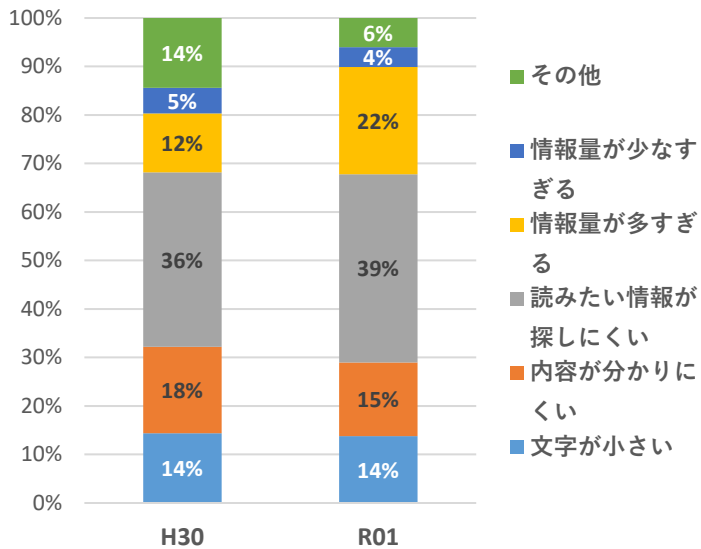
「特集」「さいじょう通信」「インフォメーションサロン」と、前半の記事に目を通す人が多い。特に「特集」は約4人に1人が読んでおり、関心を持っていることが分かる。その他の記事はほぼ横並びとなっている。

広報さいじょうは読みやすいか



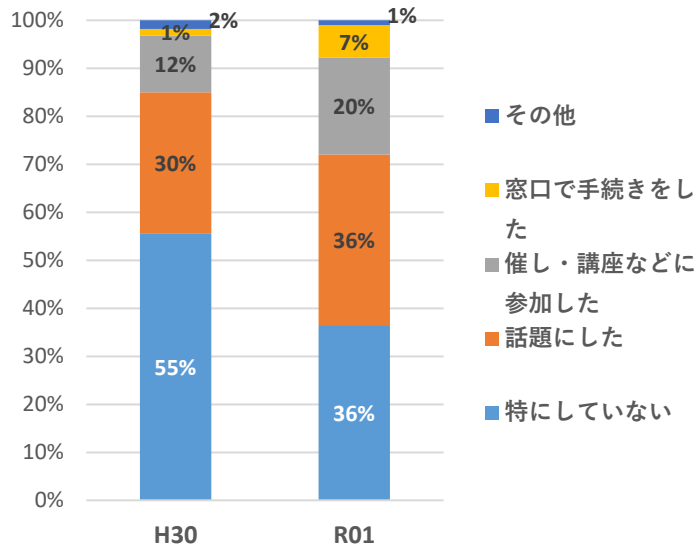
「読みやすい」「やや読みやすい」と答えた方が約9割を占めるが、昨年と比較すると「読みやすい」よりも「やや読みやすい」と回答する方が増加。「特集の文字が多いなど」の意見も見られ、余白を意識した編集が必要と考えられる。

読みにくい、やや読みにくいと答えた理由（複数回答可）



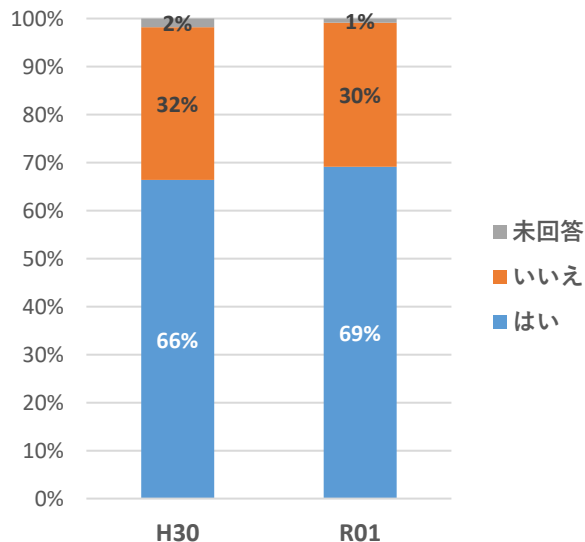
昨年と比較すると、「情報が探しにくい」という回答が3ポイント、「情報が多すぎる」という回答が10ポイント増加。「目次を設けてほしい」という意見もあり、検索性を高めるレイアウトが今後の課題といえる。

広報紙を読んで行動を起こしたか（複数回答可）



「特にしていない」という回答が昨年より19ポイント減少。それ以外の回答は全て増加しており、広報紙が行動を起こすきっかけとして浸透しつつあるといえる。

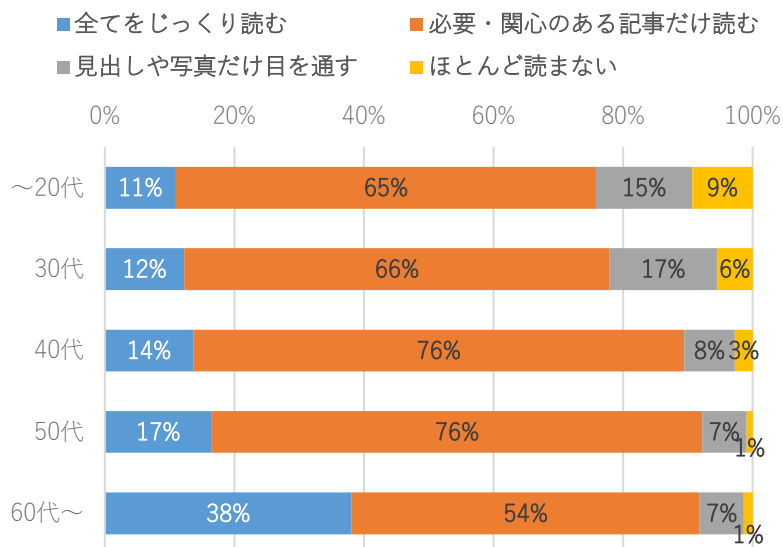
西条市を好きになるきっかけになっているか



「はい」と答えた方が約7割と、広報紙がまちを見直すことにつながっていると考えられる。理由記入欄には「西条の良さが知ることができた」「新たな発見がある」といった意見のほか、「情報を得る目的のみで読んでいる」「きっかけとしては不十分」という意見も見られた。

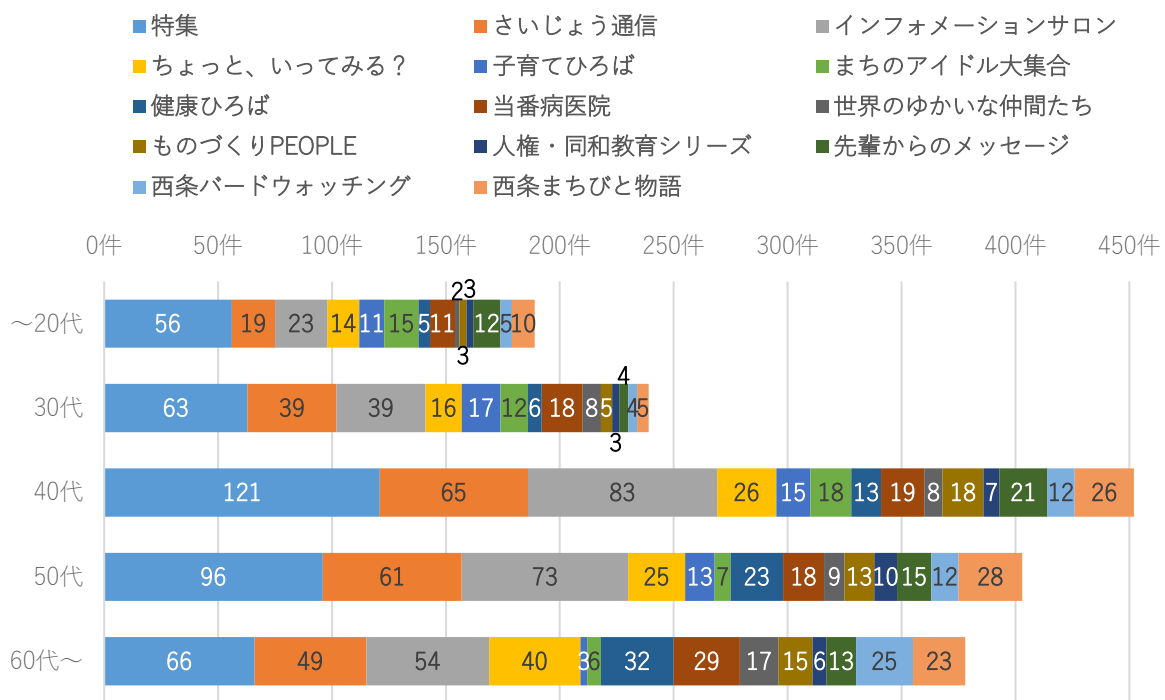
4 アンケート結果（年代別等）

どのように読んでいるか



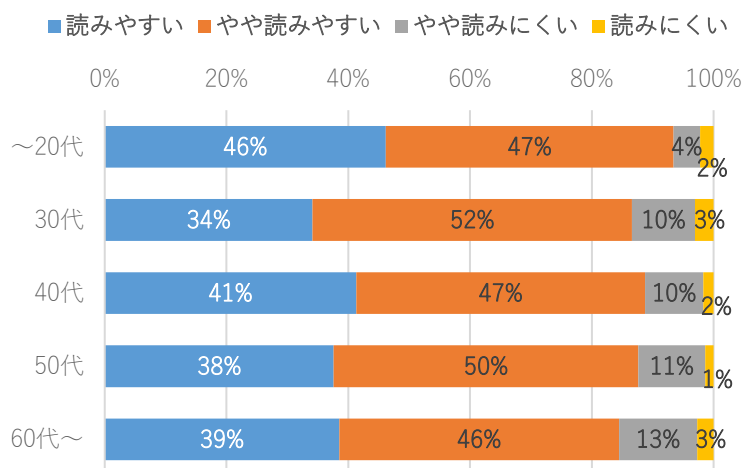
60代以上の方は、約4割が「全てをじっくり読む」と回答。50代で極端に「全てをじっくり読む」の割合が減り、年齢層が下がるにつれ、割合も減少している。

よく読む記事はどれか（三つまで選択）

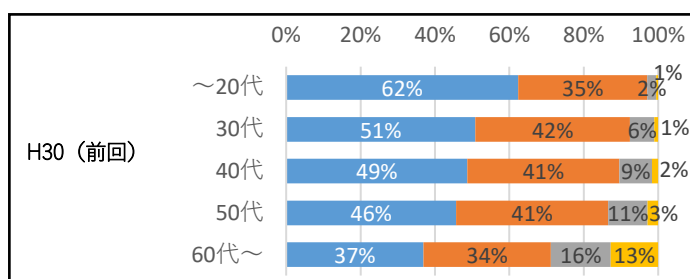


どの年代でも、よく読む記事は上位から「特集」「インフォメーションサロン」「さいじょう通信」となっている。60代以上の方では、「健康ひろば」「当番病医院」を読む人も多い。

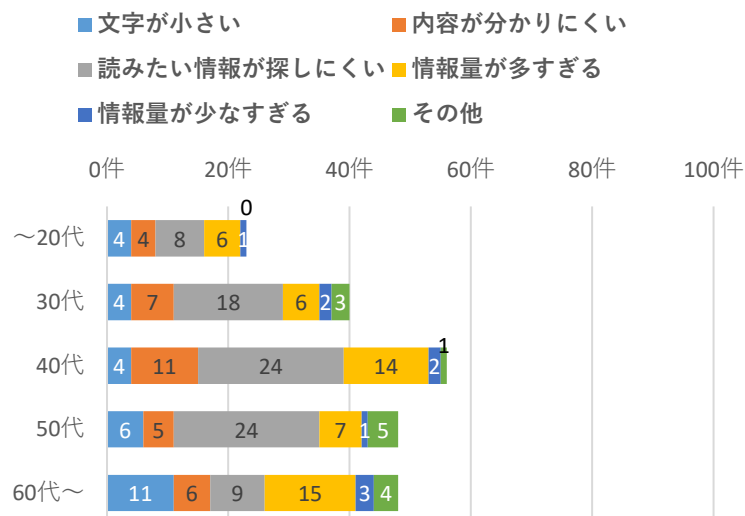
広報さいじょうは読みやすいか



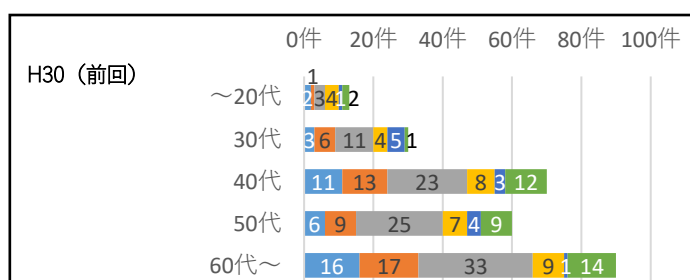
全年代で、8割以上の方が「読みやすい」「やや読みやすい」と回答。昨年と比べると、60代以上の方の「読みやすい」「やや読みやすい」という割合が増加。反対に40代以下では「やや読みにくい」「読みにくい」と答える割合が微増している。



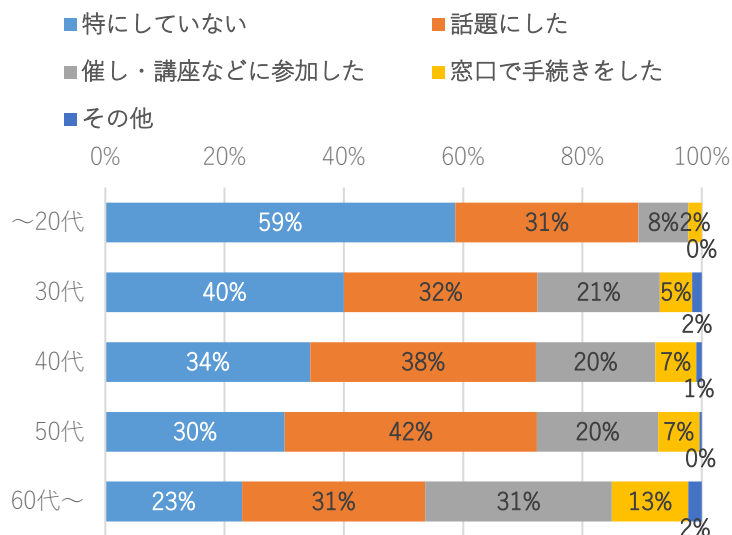
読みにくい、やや読みにくいと答えた理由（複数回答可）



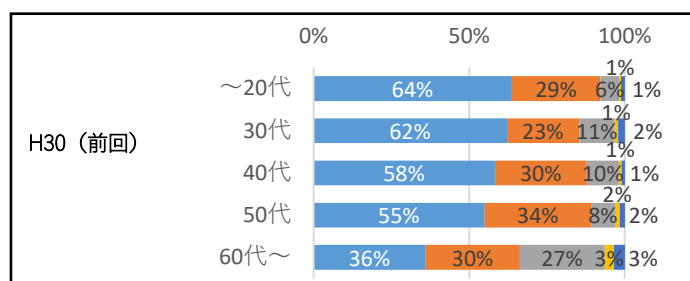
どの年代でも「読みたい情報が探しにくい」「情報量が多すぎる」の二つの回答の合計が半数以上を占める。特に50代以下では「読みたい情報が探しにくい」を選んだ方が多い。



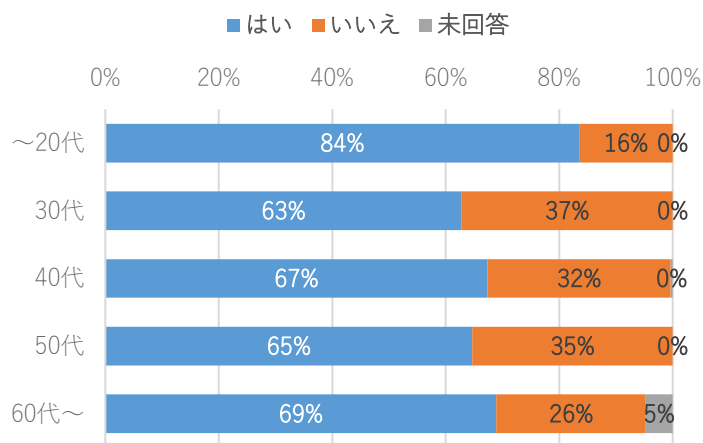
広報紙を読んで行動を起こしたか（複数回答可）



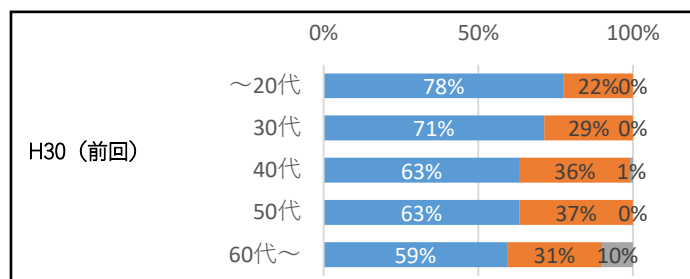
何かしら行動を起こした方の比率は、年齢層が上がるにつれて高くなっている。特に60代以上では「催し・講座などに参加した」との回答が31%と高い。昨年と比較すると、どの年代も「話題にした」「催し・講座などに参加した」「手続きをした」の割合が増加している。



西条市を好きになるきっかけになっているか



特に20代以下が、「好きになるきっかけになっている」と答える割合が高い。その他の年代はほぼ横並びである。



肯定的な意見

- 若い世代の人にとって興味がそそるような内容になったと思う（～20 代・女性）
- 東京から西条の様子を知れるので、とても重宝しています。西条に住む両親との話題にしていきたいと思っております（～20 代・男性）
- 以前より明るいイメージで読みやすくなったと思う（30 代・女性）
- 最近では表紙にもデザイン性があり、内容も西条市に特化したものになっている（30 代・女性）
- 西条市で思いを持って活動している人や組織を取り上げてくれる今の広報紙にはとても満足しています（30 代・男性）
- 様々な取り組みを紹介している「特集」記事、毎号読むたびに驚きと発見があり、ネタの選定・見せ方・切り取り方…どれも素晴らしいなあ～！と感心しています（40 代・女性）
- 表紙がとても良いので、手に取ってみたいくなる（50 代・女性）
- 以前の広報誌よりは、オールの市民に対して見やすい紙面になったと感じる。（50 代・男性）
- 2 月に引っ越してきたので、町の事をいろいろ知るのに毎月楽しみにしています（60 代・女性）
- イベント情報を参考に出かけています（60 代・男性）
- 写真が多くなって、年寄りには見やすく読みやすくなりました（70 代・女性）
- 最近の写真はきれいでインパクトがある。ぐっとせまって良い（70 代・女性）
- 子供たちも他県に住んでいますが、私が一人暮らしなので、里帰りした時広報さいじょうをよく読んでいたので、うれしく思っています（80 代・女性）
- 先輩からのメッセージ 高校の特徴がよく分かり大変良いと思います。地元の産物紹介など、市民に寄り添って分かりやすいです（80 代・女性）

否定的な意見

- 近頃横文字が多くなって年寄りにはよく分からない事があるそうです（～20 代・女性）
- 申請や届出をしなければ受けられない助成金やサービスが、インフォメーションサロンの一部として埋もれた情報になってしまっていないかと考えることがあります（30 代・女性）
- 市民が知りたい情報より、市がアピールしたいことが優先されている気がする（40 代・女性）
- 現在の広報は市民向けというより市外からの移住を進めるためのツールのイメージを持ちます。市民目線という要素も忘れてはいけないのではないのでしょうか？（40 代・男性）
- あまりに個人的な写真が掲載されていたときはなんで？この人たちが？と思ったりしました。広報なのにあまりに個人重視では？とも思いました（50 代・女性）
- 特集が大きすぎて、他の情報はあまり大切でないような印象を受ける（50 代・男性）
- フリータウン誌然としてしまい、家庭内ではそれらに埋没してそうな気もする（50 代・男性）
- 旧西条の事などが多く（内容的）旧丹原・小松・東予の事が少なく感じる（60 代・女性）
- 全てをカラーにする必要はないと思う。紙も厚みがありもったいない（60 代・女性）
- 市民総合体育大会は、年寄りは孫が入賞したり活躍したりすると、広報誌に掲載されるのを大変楽しみにしている。今回 HP に結果が載っているが、年寄りは HP を見ない（60 代・男性）
- 広報に穴をあける。とじるようにしてもらいたい（70 代・女性）
- 場所が解りにくい（70 代・女性）
- 小さいので目が疲れて読む気にならない（80 代・男性）
- 広報誌の表紙の字は、ローマ字ではなく「西条」にして頂きたいと思います（90 代～・女性）

掲載希望のテーマ

- 市長や重点課題に取り組む職員、地元中学・高校へのインタビュー（～20代・男性）
- 子育て特集、西条自然学校の特集（30代・女性）
- 温暖化対策について（30代・女性）
- 小学生でも読めるレベルにしたコーナー（40代・女性）
- 健康づくりのためのウォーキングスポット、ハイキングスポット（40代・女性）
- 保育園幼稚園の待機児童情報や取り組みなど（40代・男性）
- 西条市の山間部の紹介、西条市のそれぞれの地域の歴史（40代・男性）
- アンケートやプレゼントコーナー（50代・女性）
- 西条市 SNS 今月の No.1（50代・男性）
- 空き家が増えているので、その利活用に関する情報や先進的な取り組みを特集（50代・男性）
- 30年（40年・50年）以上あることに継続して取り組んでいる人を紹介（50代・男性）
- 1年前に大々的に報道したことがどうなったのか、どうなっているのか、「その後」を後追いつた記事が読んでみたい（50代・男性）
- 市長コーナー（60代・女性）
- 旬のものを使って、生活習慣病なども考えたちょっと小洒落た料理を一品（60代・女性）
- 悩み相談コーナー（ちょっと教えてください見たいな。月一件でもよい）（60代・女性）
- 今月の農作業について、栽培野菜毎に注意点説明してほしい（60代・男性）
- 西条から県外や市外に移り住んだ方に、今、自分が住んでいる街の紹介や、西条を離れて感じる郷愁などをリレー寄稿してもらうという企画（60代・男性）
- 不用品など紙面で交換しあったり、譲ったり出来るページを設けて欲しい（80代・女性）
- 1.災害復旧状況 2.市政状況 市民の健康問題。健康都市宣言のその後（80代・男性）
- 文芸欄の復帰。ミニエッセイなども載せてほしい。（80代・男性）

改善点・工夫など

- 小学生が記者となり、取材したものを広報誌に掲載する特集を組んではどうか（30代・女性）
- 元々西条市民向けなのか、移住者に向けての情報なのかよく分からないところもある。新しいことと改めて知ることとテーマを分ければお互い読みやすいのかなと。（30代・女性）
- 市民ライターまたは記事のテーマを募集して、市民目線の問題発見や取り組みにつなげることができたら面白いと思います（30代・男性）
- 乳幼児世帯、小学生世帯、中学生世帯、高校以上、など世代別の催しものの一覧があったら嬉しい（30代・男性）
- 最近の特集ページの文字量が多い印象。適切なタイトル付けや、余白、章の区切りなど、もう少し意識すればさらに読みやすい紙面になるのではないのでしょうか（40代・女性）
- 真ん中のページは見開きになるので、イベント・お知らせなどをまとめるとそのページを外して掲示できるようになると思う（40代・不明）
- 意見を投稿できるハガキ（このアンケートのような）をつけたら良いのでは？（50代・男性）
- カレンダーのように、日時に行事一覧の入った頁をつくり、貼って使えるようにしたらどうでしょうか（50代・女性）
- インフォメーションサロンの全ページが、同じ色調、同じパターンで掲載されているので、項目ごとに変化があれば、わかりやすいと思う（50代・女性）
- 目次があると、あとから記事が探しやすいと思う（70代・男性）